



2022年3月1日

各位

会社名 日本農薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 友井洋介
コード番号 4997 東証第1部
問合せ先 総務・法務部長 永井 統尋
電話 03-6361-1400

スマートフォン用アプリケーション「レイミーのAI病害虫雑草診断」の 診断対象作物拡大並びに薬剤情報拡充のお知らせ

当社が、2020年4月より配信しておりますスマートフォン用アプリケーション「レイミーのAI病害虫雑草診断」（以下、「本アプリ」）の診断対象作物を、既存の6作物（水稲、キャベツ、はくさい、レタス、ブロッコリー、ねぎ）から、新たにトマト、きゅうり、なす、いちごの4作物を追加し診断対象作物が拡大されましたので、お知らせいたします。

本アプリは、当社と株式会社NTTデータCCSが共同で開発したスマートフォン用の防除支援ツールです。カメラで撮影した作物や田畑に発生する病害虫や雑草の画像に対してAIによる診断を行い、利用者が防除に有用な薬剤情報を提供する仕組みとなっています。本アプリはiOS、Androidに対応しており、ダウンロード・利用共に無料です（お客様は通信料のみのご負担となります）。

また本アプリでは、当社製品の他、スマート農業の推進に向け連携しております日産化学株式会社、日本曹達株式会社および三井化学アグロ株式会社が提供する薬剤情報を掲載しておりますが、4月1日より新たに株式会社エス・ディー・エス バイオテック、丸和バイオケミカル株式会社の製品も掲載することとなりました。これにより従前よりも多くの薬剤情報を提供することで、防除場面におけるユーザーの選択肢を広げることができると考えております。

なお、追加する4作物に対応したAIの学習に用いたデータの一部は農林水産省委託事業「人工知能未来農業創造プロジェクト・AIを活用した病害虫診断技術の開発」および、「官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）」の成果である「病害虫被害画像データベース」（<https://www.naro.affrc.go.jp/org/niaes/damage/>）を活用しております。

画像の収集にあたっては、以下の機関が担当しました。

岩手県農業研究センター、茨城県農業総合センター、新潟県農業総合研究所、岐阜県農業技術センター、広島県立総合技術研究所農業技術センター、宮城県農業・園芸総合研究所、栃木県農業試験場、静岡県農林技術研究所、兵庫県立農林水産技術総合センター、香川県農業試験場、長崎県農林技術開発センター、福島県農業総合センター、埼玉県農業技術研究センター、長野県野菜花き試験場、愛知県農業総合試験場、高知県農業技術センター、宮崎県総合農業試験場、群馬県農業技術センター、富山県農林水産総合技術センター、山梨県総合農業技術センター、三重県農業研究所、三重県中央農業改良普及センター、京都府農林水産技術センター、鹿児島県農業開発総合センター

今後とも、機能充実や診断対象作物追加など、本アプリの改善を行い、スマート農業を通じて生産者の利便性を向上させるソリューションの開発に取り組んでまいります。

詳しくは本アプリに関する下記サイトをご覧ください。

<https://www.nichino.co.jp/products/aiapp/index.html>

以上